



医療的ケア

用語集

福島県医療的ケア児支援センター



## 目 次

医療用語 . . . 2 ページ

福祉用語 . . . 22 ページ

※この用語集は、医療的ケアが必要な方や、ご家族、支援者等にもわかりやすいように、医療的ケアに関する医療用語、福祉用語について平易に説明しております。  
用語集に関して、ご意見、ご要望等ございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

### ◆お問い合わせ先

福島県医療的ケア児支援センター

TEL：024-973-7636 メール：ikeasenta@pref.fukushima.lg.jp

# 医療用語

	用語	略語	意味
R	RS ウイルス		RS ウイルスの感染による呼吸器の感染症。 肺炎などを起こす、乳児急性気道感染症の主な起因ウイルス。
V	VA/VP シャント		水頭症の治療。 髄液を体内の他の場所に排出させて、脳圧をコントロールする目的で行う。
Y	Y ガーゼ		Y 型に切り込みを入れた処置用ガーゼ。 胃ろう造設後やカニューレ挿入部の保護のために使用する。
あ	アイスパック		氷枕や保冷剤のこと。
あ	アセスメント		支援対象の方の情報を主観的・客観的に捉え、問題点や強み、よりよくするための視点を探り、その人に必要なことを考えること。
あ	アタッチメント		愛着、愛情。 特定の人やものに対する心理的な結びつきのこと。
あ	アドバンスケア プランニング	ACP	将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、本人を主体に、その家族や近しい人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援する取り組み。
あ	アドボカシー		権利擁護のこと。 自己の権利を表明することが難しい方の生命や権利、利益を擁護して代弁すること。
あ	アプガースコア		出生直後の新生児の状態を点数で評価する方法。
あ	アラーム		医療機器等の警告音。
あ	アンビューバッグ		手で人工呼吸を行うための器具。 アンビューバッグは商品名 正式には、バッグバルブマスク。
あ	アンプル		注射剤を入れる密封容器。 薄いガラスでできている。
あ	あんぽう 巻法		温巻法…湯たんぽ等を用いる。温めたり、血流改善。 冷巻法…氷のうやアイスノンを用いる。痛みや炎症を鎮めたり、心地よさを得る。

い	医師	Dr	患者さんの診察や治療を行う。
い	移乗動作	トランス/ トランスファー	ベッドから車いすなど、移動する動作のこと。
い	イブニングケア		夕方以降に実施する安眠を促すためのケア。 ベッドを整えたり、排泄や洗面、口腔ケアなどを行うこと。
い	医療ソーシャルワーカー	MSW	医療機関などにおける福祉の専門職で、患者さんやご家族の生活等について、社会福祉の立場から相談支援やサービス調整等を行い、サポートする人のこと。
い	医療的ケア		病気を治すため治療行為としての医療とは区別され、日常生活に必要な呼吸や栄養補給をお手伝いするための医療的な生活援助行為のこと。
い	医療的ケア児 医ケア児		日常生活において経管栄養などの医療機器を必要とする子どものこと。 知的障害や運動障害の有無は問わない。
い	医療的ケア児等 医療情報共有システム	MEIS メイス	災害や事故等の際に、対応に当たる医師・医療機関（特に救急医）等が迅速に必要な患者情報を共有できるようにするためのシステム。
い	イルリガートル イリゲーター		経管栄養剤を滴下するための注入ボトル。
い	イルリガートル スタンド		イルリガートルをかけるフック付きのスタンド 点滴スタンド。
い	胃ろう		腹壁と胃を固定して小さな穴を開け、栄養カテーテルを留置し、カテーテルを通じて直接胃にペースト状にした食べ物を摂取する。
い	胃ろうボタン型		外部（接続部分）の形による分類。 出っ張りが少ないため目立たず、邪魔にならないため誤ってカテーテルを抜いてしまうことが少ない。在宅でよく見られる。
い	胃ろうチューブ型		外部（接続部分）の形による分類。 体外にチューブが出ているため、引っ張られて抜けてしまうリスクがある。
い	インスリン自己注射		糖尿病により血糖値を下げるホルモン（インスリン）が少ない時に、ご本人またはご家族がインスリンを補うために1日数回インスリン注射を行うこと。

い	インフォームド コンセント	IC	患者さんやご家族が、治療などについて医療関係者から十分な説明を受けたうえで納得し、自らの意思で同意や選択をすること。
う	ウィスク	WISC	子どもの得意・苦手を把握することに適した検査。 発達障害の診断には使われない。5歳～検査対象。
う	ウエスト症候群		生後 4～8 か月で発症することが多い。頭がカクンとうなずく動作を伴うことから「點頭てんかん」と呼ばれている。 精神運動発達の後退をきたすてんかん症候群で難病指定となっている。
う	ウォータートラップ		人工呼吸器の回路から放出される水を溜めておく部分。
う	うし 齧歯		虫歯。
う	ウロ		泌尿器科。 主に腎臓疾患を治療する診療科。
う	ウロバッグ		病気や障がいなど何らかの原因によって自身で排尿することができない方が、持続的に膀胱へカテーテルを留置し、そのカテーテルから出てきた尿を溜めておくためにつけておく袋のこと。
え	炎症反応	CRP	体内で炎症が起きると血液中に急激に増えるたんぱく質の一種。 採血にてスクリーニングし、上昇していればなんらかの炎症を疑う。
え	エア		空気、気泡。
え	エアウェイ		気道のこと。 気道確保、経鼻エアウェイもさす。
え	エアマット		空気の入ったマットレス。褥瘡予防に用いられる。
え	エアリーク		人工呼吸器、気管カニューレ等の空気漏れをさすことが多い。
え	エビデンス		証拠や根拠のこと。 効果があることを示す証拠や検証・臨床結果を指して、 安全で効果のある治療法を選ぶ際の指針となる根拠のこと。

え	エピペン		アレルギーなどによるアナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品。
え	嚥下		飲み下すこと。 口腔内の食物を胃まで送り込む過程。
え	嚥下性肺炎		飲み込んだものが肺のほうに流れ込むことによって生じる肺炎。
え	嚥下造影検査	VF	X線透視下で造影剤入りの検査食を嚥下させ、食塊の流れと嚥下関与器官の動きを観察し病態評価を行う方法。
え	炎症		身体の傷ついた部位が赤くなったり、腫れたり、熱を持ったりする状態。
え	円背		猫背のこと。 胸椎や腰椎が後方へ湾曲し、丸みを帯びた状態。 骨粗鬆症や背筋力の低下により起こる。
え	エンパワーメント		1人1人の考え方、自分らしさなどを尊重しながら、主体的・積極的に能力を発揮できるようにすること。
お	嘔気		吐き気のこと。
お	黄疸		血液中のビリルビンという色素が増えて外見上、黄色くなる状態。 眼球結膜（白目）の部分は軽症の黄疸でも黄色が分かりやすい。
お	嘔吐		胃の内容物を口から吐くこと。
お	大島分類		重度の知的障害と重度の肢体不自由が合併した状態を定義するために考案された分類法。
お	悪寒		発熱の初期に起きる寒気のこと。
お	悪心		嘔吐の前に起こる吐き気。
お	オストミー		人工肛門や人工膀胱のストーマを造設する手術のこと。

お	オストメイト		人工肛門・人工膀胱が造設されている方のこと。
お	オンマヤリザーバー		頭部の皮下に設置する脳脊髄のリザーバーのこと。水頭症の方では髄液を抜いて脳圧の上昇を抑えたり、がんの方には抗がん剤を入れたりすることができる。
か	関節可動域	ROM	関節が動く範囲（関節可動域）を測定することによって、関節の動きを阻害している因子の発見・障害の程度を判定することができる。
か	介護		病気や障害などで日常生活に困難がある方に対し、食事・排泄・入浴・着替え等の日常生活全般の支援を行うこと。
か	介護福祉士		身体や精神に障害がある方の心身の状況に応じた介護や介護指導を行うこと。
か	回旋		身体のある部分を中心（長軸）に回転する運動。
か	潰瘍		病気のために粘膜や皮膚の表面が炎症を起こしてくずれ、できた傷が深くえぐれたようになった状態。
か	回路		人工呼吸器本体から患者へ、調節されたガスや湿度などを運び、また患者からの呼気ガスを呼気排出口まで導くもの。
か	カウプ指数		栄養指標のひとつ。
か	下顎呼吸		努力呼吸のひとつで、すでに全身状態が悪化しているときに現れる。 呼吸すること自体も限界なほど、全身の力を精一杯注ぎながら顎で喘ぐような呼吸状態。
か	喀痰		気管、肺などから、痰や異物を咳とともに吐き出すこと。
か	荷重		体重をかけること。
か	家族歴		ご家族やご親族の病歴等のこと。



か	肩枕		肩の下に枕やクッションをいれ、首を後屈させて気道確保する。 気道を最大限開放し、気管チューブを適切な位置に保持できる姿勢になるよう調整する必要があるため。
か	喀血		気道（気管・肺）から出血したときに見られる。 血液そのものを咳とともに吐く状態。 痰に血が混じっている状態を血痰と表現する。
か	カテーテル		挿入用のチューブ注入や排液など様々な用途のものがある。
か	カニューレ		血管や体腔へ挿入する人工チューブ。 とくに、酸素吸入の管や、気管内チューブをさすこともある。
か	カフ		カニューレの先端近くにある風船のこと。 カフを膨らませることで気管とカニューレの隙間がなくなる。 隙間がなくなることで①誤嚥を防ぐ②空気の漏れを防ぐなどが期待される。
か	カフアシスト		咳と同じ効果をもたらす機械のこと。 自分で咳をしたり、うまく痰が出せない場合に使用する機械。
か	寛解		病気の完治ではないが、病気の症状がよくなって、穏やかになっている状態。
か	間欠		一定の間隔をおいて、起こったり止んだりすること。
か	看護師	Ns	病気やけがをした方の療養上のお世話や、医師の診療補助を行う。 国家資格を有する。
か	患側		体の麻痺やけがなどがある側。
か	看護師小規模 多機能型居宅介護	看多機	看護と介護を一体的に提供するサービス。 「訪問看護」と「小規模多機能型居宅介護」を組み合わせたサービスで、通い・泊まり・訪問介護・訪問看護サービスを提供する。
か	浣腸		肛門にグリセリン液を入れて排便を促すこと。
か	カンファランス		ご本人やご家族、医療や福祉関係者などが集まって、サービス等について検討を行う会議。

か	陥没呼吸		息を吸うときにのどの下、鎖骨の上、肋骨の間、みぞおちがペコペコへこむ呼吸の状態。
が	外旋		回旋運動のうちからだ前面を外側に向かう運動。
が	咳嗽		咳のこと。
が	含嗽		うがいのこと。
き	既往歴		これまでにかかった病気のこと。
き	気管カニューレ		気道確保のために、気管内に挿入するチューブのこと。 経口、経鼻、気管切開に留置する。
き	気管切開	気切	長期間の人工呼吸器管理が必要な場合・のどの病気等で呼吸がしにくい場合、嚥下障害のため誤嚥リスクが高いなどが適応となる。
き	気管切開術		呼吸をしやすくするため、あるいは分泌物を吸引しやすくするために、気管に穴を開ける手術。
き	気管腕頭動脈瘻		気管切開術後の合併症。カニューレやカフの刺激により気管壁が損傷され、気管直前にある腕頭動脈との間に瘻孔が出来る。 大出血をきたすことがある。
き	器質化		体内に入った異物や、体内で生じた血栓や壊死組織などの異物が、肉芽組織でおおわれて吸収されること。
き	気道		呼吸に必要な空気の通り道のこと。
き	吸引	サクション SC	陰圧がかかる吸引用のカテーテルを鼻や口、気管切開部から気道にいれて、鼻水・唾液・痰を吸い出す。
き	<small>きゅうてつ</small> 吸啜反射		原始反射の一つ。 唇に触れたり、口に入ったものに強く吸い付く行為。

き	吸入	ネブライザー Neb	息を吸うのを利用し、霧状にした薬剤や水分を軌道に送り、痰を出しやすくしたりする。 専用の機械（吸入器：ネブライザー）を使用する。
き	胸水		胸膜腔内に溜まった液体。 健常でも少量の胸水は存在するが、悪性腫瘍や肝硬変、ネフローゼなどの疾患で量が増加することがある。
き	強直		関節自体の変形・癒着によって関節が動かなくなること。
き	強直性けいれん		随意筋が不随的に収縮した状態。突然発症して継続する。 てんかん発作の場合が多く、四肢を伸展して反り返る全身けいれんと、腓腹筋けいれんなどにみられる局所けいれんがある。
ぎ	胃食逆流症	GERD	胃から食道へ、胃液や栄養剤、食べ物などが逆流したことによって起こるさまざまな症状の総称。
ぎ	仰臥位		あおむけの姿勢のこと。
き	狭窄		狭くなること。
<	車いす	W/C	病気や障害等により歩行が難しい方が移動の際に使う福祉用具のこと。
<	クーリング		アイシング。 冷電法。
<	クオリティーオブライフ	QOL	生活（人生）の質の向上を目標とする概念。 生活・人生を向上させることを考えること。
<	屈曲		関節を曲げること。
<	屈曲拘縮		関節が屈曲したまま拘縮し、伸展制限があるもの。
<	クリティカル		危機的な状況のこと。
<	クレンメ		点滴や経管栄養の滴下量を調整する器具。

く	クローヌス		筋肉や腱を不意に伸長したときに生じる、規則的かつ律動的に筋収縮を反復する運動。
ぐ	グラスゴーコーマスケール	GCS	意識障害の国際的な評価分類。
ぐ	グリーフケア		家族など大切な人と死別して悲観にくれる人に対する支援。喪失に伴う悲観には乗り越えるまでのプロセスがあり、このプロセスに照らし合わせて支援する。
ぐ	グリセリン浣腸	グリ浣 GE	グリセリンが含まれる下剤による浣腸。
け	血糖値	BS	血液に含まれるブドウ糖の濃度。空腹時血糖 80-90mg/dl が正常範囲内。
け	血圧	BP	心臓から送り出された血液が、血管の壁に与える圧力。
け	経皮内視鏡的胃瘻造設術	PEG	口から食事がとれない人、飲み込む力のない人のために、直接胃に栄養を入れるため胃ろうを造設するための術式。
け	経管栄養		経口摂取が出来ない、または不十分な場合に、カテーテルを消化管内に挿入し流動食を注入する方法。 経鼻胃管・経鼻腸管・胃ろう・腸ろうがある。
け	痙縮		筋の緊張が亢進した状態で、他動的に動かしたときに、速度に比例して抵抗の強さを感じるもの。 素早く動かすと強い抵抗を感じ、ゆっくり動かすと弱まる。
け	傾聴		相手の話に注意や関心をもって、真摯な姿勢で共感的に聴く、コミュニケーションスキル。
け	経鼻経管栄養	NGT	鼻を通して胃に留置するチューブ。 経管栄養等に用いられる。
け	頸部		くびのこと。
け	傾眠		意識障害のひとつ。 ウトウトしている状態のこと。

け	痙攣		自分の意志とは関係なく、体の一部の筋肉や全身の筋肉が縮んで硬くなったり、がくがくとする状態のこと。
け	健側		体の麻痺やケガなどがない健康な側。
げ	下血		胃や腸内で出血した血が、便などに混じって肛門から出てくること。
げ	言語療法	ST	言葉の障害（失語症や言語発達遅滞など）、声や発音の障害（音声障害や構音障害など）、食べる機能の障害（摂食・嚥下障害など）に対して行うリハビリテーション。
げ	言語聴覚士	ST	言語障害、音声障害、嚥下障害の訓練・指導を行う。
こ	呼吸数	R	1分間の呼吸の数。
こ	コアグラ		血液のかたまり。
こ	拘縮		寝たきりや長い時間身体を動かさないうえに、筋肉や皮膚などの関節周囲の軟部組織が伸縮性を失って硬くなり、関節の動きが悪くなる状態。
こ	こより		ティッシュ1枚をこよりにして胃ろうの周囲を保護する際に使用する。
ご	誤嚥		飲み込んだ水分や食物などが、食道ではなく気管に入ってしまうこと。
さ	再燃		落ち着いた症状が、再び出現したり悪化すること。
さ	再発		完治した病気が再び起こること。
さ	作業療法	OT	作業（食事、洗顔、料理、習字など）に焦点を当てた治療、指導、援助のこと。

さ	作業療法士	OT	手の動作や指の細かい動作の訓練・指導を行う。 食事や洗顔、料理、字を書く等の生活動作の訓練を行う。
さ	サマリー		入院中の様子や病歴等を要約したもの。
さ	酸化マグネシウム	カマ	非刺激性便秘薬。
さ	酸素飽和度	SpO2 サーチレーション	動脈血酸素飽和度の値。 指先にパルスオキシメーターを装着して経皮的に測定する。
さ	酸素療法		体の中の酸素が足りない時に、酸素濃縮器や酸素ポンプを用いて、カテーテルやマスクを通して口鼻や気管切開部から酸素を補う。
ざ	座位		上半身を90度程度に起こして座っている姿勢のこと。
ざ	在宅酸素療法	HOT	自宅で酸素投与を行う治療法。
ざ	座位保持装置		体幹や手足の障害により座位の姿勢を保つことが難しい方が使う座位保持のための装置。
ざ	座薬	sup	肛門などに差し込んで使う薬。
し	心電図	ECG	心臓の電気的な活動を見る検査。
し	新生児回復室	GCU	NICU で治療を受け、状態が安定してきた赤ちゃんが引き続き治療を受けるお部屋。
し	心拍数	HR (ハートレート)	1分間の拍動の回数。
し	新生児集中治療室	NICU	生まれた直後から高度な治療が必要な子どもが治療を受ける集中治療室。
し	小児集中治療室	PICU	手術後や高度かつ集中した治療が必要な15歳以下の子どもの入院部屋。

し	弛緩		ゆるんだり、たわんだりすること。
し	シナジス		RS ウイルス感染症の予防を目的とした注射。
し	シリンジ		注射筒のこと。
し	新生児仮死		様々な原因により、生まれたときに酸素不足や循環器系の障害がみられる状態。
し	振戦		身体の一部あるいは全身に起こる、不随意でリズムカルな震えが起こる症状。
し	酒精綿		70～80%エタノールを浸み込ませたカット綿。 手指や皮膚の洗浄・消毒を目的として使用。
し	心雑音	HM (ハートママー)	心雑音が聴取できる場合、心臓弁膜症や心臓弁膜症、先天性心疾患、心筋症、心筋炎などの心臓の病気が疑われる。
し	侵襲的陽圧換気療法	TPPV	気管切開による人工呼吸。 長期に渡る人工呼吸が必要で、NPPV の適応とならない場合に選択される。
じ	磁気共鳴画像	MRI	強い磁場と電磁波で、身体の断面を撮影する検査法。
じ	18トリソミー		18番目の染色体が1本多い疾患。 先天的な染色体異常症。
じ	ジャパンコーマスケール	JCS	意識レベルの評価に使用する。
じ	ジェネリック医薬品		後発医薬品のこと。
じ	ジェノグラム		家系や家族構成、その関係性について図に示したもの。
じ	自助具		障害や病気による麻痺や身体機能の低下の際に、身の回りの動作が自分でできるよう、工夫や改良を加えた道具のこと。

じ	持続陽圧呼吸療法	CPAP	非侵襲的な呼吸補助の方法。常時一定の圧をかける。 早産の新生児で呼吸障害、呼吸困難症状のある患者さんへ非侵襲的な呼吸補助を提供する最初の方法として推奨される。
じ	重症心身障害		重度の身体障害と重度の知的障害とが重複した状態。 制度的に IQ35 以下かつ座位までの運動障害を持つ方と定義されている。(大島分類 1~4 に該当する)
じ	褥瘡	デクビ	寝たきりなどにより体重で圧迫されている場所の血流が悪くなり、滞ることによって起こる皮膚障害のこと。 床ずれともいう。
じ	人工肛門	ストーマ	病気や手術により、消化管が十分な機能を果たせなくなった時や腸を休ませる必要がある時に腸の一部をお腹の外（皮膚側）に出して、肛門に代わる便の出口。
じ	人工呼吸器	レスピレーター	自分で呼吸することが難しいまたは自分の呼吸だけでは不十分な場合に、人工呼吸器という機械を用いて、人工的に息を吸ったり吐いたり(呼吸管理)をする。 人工呼吸器は体の外にあり、回路を通じて空気や酸素を口鼻や気管切開部から肺の方に送る。
じ	人工鼻		気管カニューレを挿入していると、空気が鼻腔や口腔で加湿されずにそのまま肺へ入るため乾燥しやすく、感染リスクが非常に高まる。そのため人口鼻（加湿フィルター）を装着し加湿する。
す	水疱		水ぶくれのこと。
す	スクイーピング		患者さんの呼気に合わせて、痰の貯留部位を中枢気道に向かって絞り込むように圧迫する排痰手技のこと。
す	スヌーズレン		どんなに障害の重い人たちでも楽しめるように、「光」「音」「匂い」「振動」「温度」「触覚の素材」このようなものを組み合わせたトータルリラクゼーションの部屋のこと。
す	スピーチバルブ		気管切開をしたまま声を出すための道具。 息を吸う時には空気が通るが、吐く時は空気が流れない一方方向弁になっている。
す	すべり症		背骨の関節や椎間板の変形などにより、背骨がずれる病気。
せ	精神発達遅滞	MR	学力・社会適応能力・自己管理能力・運動能力といった点に困難さがみられる。



せ	清潔間欠的導尿 清潔間欠的自己導尿	CIC CISC	尿道にカテーテルを挿入し、尿を体外へ排出する方法。 脳性麻痺、脊髄損傷や外傷などにより、排尿機能に障害がある場合に行う。
せ	清拭		タオルなどで体を拭いて清潔を保つ行為。
せ	清浄綿		脱脂綿に薬液を浸み込ませ、フィルムパックで密閉したもの。 洗浄と清拭を目的に使用。薬液は非常に低濃度である。
せ	先天異常		出生前の段階で生じる身体的な異常のこと。出生時あるいは生後1年以内で明らかになる。ほとんどの先天異常は原因不明。
ぜ	喘鳴		呼吸をするときに「ヒューヒュー」「ゼイゼイ」などの音がすること。 基本的には気道が狭くなった時に出る音。
そ	挿管 気管挿管		何らかの原因で気道に閉塞が生じている、または生じる可能性がある、人工呼吸管理が必要となった患者さんに対し、気管内にチューブを挿入・留置し、気道を確保する。
そ	装具		手や足、体幹などの身体の機能を補ったり、機能低下を防いだり、保護するなどを目的として装着する補助器具のこと。
そ	早産		正期産（妊娠 37 週 0 日～41 週 6 日）より前の出産。妊娠 22 週 0 日～36 週 6 日までの出産を早産という。
そ	側臥位		横向きに寝ている姿勢。
そ	側弯		背骨が左右に弯曲した状態で、背骨自体にねじれを伴うことがある。 側弯が進行すると、腰背部痛や心肺機能低下をきたすことがある。
た	短下肢装具 (ankle foot orthosis)	AFO	足首の関節の動きを制限し、固定・動揺・拘縮などの治療を目的とした装具。
た	体温	BT・KT・T	身体の内部の温度。
た	多発性硬化症	MS	脳と脊髄、目の神経に問題が起こる病気。 指定難病。

た	体位変換		介護者が手伝って体の向きを変えること
た	対光反射		瞳孔反射のひとつで、瞳孔に光刺激を与えると、瞳孔が小さくなる反応を指す。神経障害や脳の障害を把握するために観察される。
た	田中ピネー		子どもの知的側面の発達状態を客観的に捉えるための検査。 2歳～検査できる。
だ	ダイアップ		子どもの熱性けいれんや、てんかんのけいれんを抑える薬。
だ	脱力発作		四肢や体幹の筋群の力が一瞬抜けて姿勢が崩れたり、倒れたりする発作。
ち	聴性脳幹反応	ABR	脳波で聴力をみる検査。 ある一定の音を聞かせ、脳波をコンピューター解析して、その脳幹反応が出るかで聞こえてくるかどうかを調べる検査。
ち	聴診器	ステート	肺や心臓、お腹の音などを聴取するために使用する道具。
ち	チアノーゼ		血液中の酸素不足により、皮膚や粘膜が紫色になること。 爪や口唇周囲に表れやすい。
ち	注意欠陥多動性障害	ADHD	年齢あるいは発達に比べて注意力が足りない、衝動的で落ち着きがないといった特性があるために日常生活に支障をきたしている状態。
ち	中心静脈栄養	IVH TPN	口からの栄養摂取が難しい・消化管機能が低下している時に、心臓の近くにある太い静脈に水分・電解質・栄養を補給する高カロリー輸液の点滴を行う。
ち	注入		口や鼻、胃などに留置したカテーテルを通して栄養剤を注入すること。
ち	腸閉塞	イレウス	腸の中にある食べ物や便、消化液などがうまく肛門側に運ばれなくなってしまう病気。
ち	腸ろう		腹壁と腸を固定して小さな穴を開け、十二指腸または空腸に栄養カテーテルを留置する方法。 胃になんらかの問題がある場合選択される。

て	てんかん	EPI	発作性に脳の神経細胞の異常な興奮が起こり（脳波では発作波として表れる）、その結果、意識・運動・感覚などの突発性、再発性の異常をきたす慢性脳疾患。
て	低出生体重児		出生体重が 2500 g 未満で出生した児。
て	ティルト試験		失神を頻発する場合に、その原因を検索するために行う検査。自律神経による調節異常かどうか分かる。
て	排便		便を手動的に排出するケア。 医療行為。
と	透析		小児透析とは、急性腎不全や慢性腎不全などで腎臓の機能が低下した場合に、末期腎不全への進行予防、腎不全によって起こる心血管疾患や生活習慣病の予防、成長障害を予防する目的で行われる。
と	疼痛		医療用語で「痛み」のこと。
ど	導尿		自力でおしっこが出せないときに、尿道口から膀胱までカテーテルを入れ、膀胱に溜まったおしっこを体の外に出す。 医療行為。
ど	動脈血酸素飽和度	SaO2	動脈血中の酸素飽和度のこと。酸素の供給量を知ることができる。一般的には動脈血ガスを採取して測定する。
に	二相性陽圧換気	BIPAP (バイパップ)	人工呼吸器の換気モードのひとつ。 機械から鼻マスクを通して空気を上気道に送る人工呼吸法。
に	尿	Hr (ハルン)	
に	肉芽		外傷や炎症によりえぐれた皮膚や粘膜などの組織が修復する際にできる、柔らかく盛り上がった粒上の肉のかたまりのこと。 気管カニューレが気管の壁に長時間当たっているとできることがある。
に	日常生活動作	ADL	日常生活を送るための基本的な動作ことで、「起床・移乗・更衣・排泄・入浴・整容」動作のこと。
に	日常生活用具	日生具 (にっせいぐ)	障害のある方や小児慢性特定疾病、難病がある方等に、日常生活をより快適にして利便を図るための用具。 ネブライザーや吸引器、ストーマ装具などのこと。

の	脳性麻痺	CP	脳の損傷のために生じる運動と姿勢の障害。
の	脳波	EEG	脳の活動によって引き起こされる、波のような信号。 てんかんの検査には必須。
は	白血球	WBC (ワイセ)	細菌や異物が体内に侵入して起こる炎症や、血液疾患の診断、 経過観察に用いられるスクリーニング検査。
は	肺内パーカッション		ネブライザーによって加湿された空気の塊を、高頻度かつ継続的に 気道内に送ることによって、換気改善と喀痰排出の補助を行う。
ば	バイタルサイン		生きている状態を示す生命兆候。 呼吸、体温、血圧、脈拍を測定することで、状態の変化や異常を早期に 発見へ繋がる。
ば	バギー		病気や障がいなどで体幹が弱いため首が座らない子や、姿勢が固定で できない子のための車いす。 こどもの障がいに合わせて、背もたれの角度を変えられることや、 座面の下に人工呼吸器を積めるような造りになっているのが特徴。
ぱ	パルスオキシメーター		血液の酸素供給が正常に行われているかどうかを測定できる機器。 96～99%が正常値。
ひ	非侵襲的陽圧換気療法	NPPV	気管切開をすることなく、マスクなどを介して肺に圧をかけて換 気を行う方法。 吸気と呼気の圧が違う。（*CPAPは常時一定）
ひ	非荷重		患肢へ体重をかけないこと。
び	鼻咽頭エアウェイ		のどが狭くなって呼吸がしづらい時などに、柔らかいチューブを 鼻から喉まで入れて、空気の通り道を作る。 睡眠時に使用することが多い。
び	鼻翼呼吸		息を吸うとき、小鼻が開くような呼吸法。主に小児で呼吸困難が 強くなると生じる。
び	びらん		皮膚や粘膜の表皮が欠落した状態。 ただれのこと。
ふ	腹圧		お腹の中にかかる圧力のこと。 背筋を支えたり、排便時に便を押し出す力にもなる。

ふ	腹臥位		腹ばい姿勢のこと。
ふ	浮腫	エデマ エデム	むくみのこと。
ふ	フラッシュ		点滴チューブ等に溜まった薬液等を生理食塩水などを用いて、体の中に流し込むこと。
ハ	ヘルペスウイルス		唇や唇周囲の皮膚に接触して、粘膜に感染することによって起こる。 ストレスや疲れなどで免疫力が下がった時に再発を繰り返す。
ハ	ヘモグロビン値	Hb (ハーバー)	貧血などの血液疾患のスクリーニング検査。
ペ	ペースト食		肉や野菜などを細かくすりつぶして、咀嚼しやすく吸収しやすいように工夫した食事。胃ろうから注入することもできる。 ねっとりしている。
ペ	ペルテス病		子どもの股関節の大腿骨の頭の部分への血行がなんらかの原因で途絶され、骨の壊死（骨の細胞が死んでしまう）が起こり、骨の強度が極端に弱くなり、放置しておくとう漬れて骨に変形が生じてしまう病気。
ほ	保育器	クベース	保温、加湿、感染予防、酸素濃度の調整ができる。 保育器の中はお母さんのお腹の中の環境に近づけられ、赤ちゃんの状態に合わせて温度や湿度が整えられる。
ほ	補装具		身体障害者が装着することにより、失われた身体の一部、あるいは機能を補完するものの総称。
ま	麻疹風疹ワクチン	MR ワクチン	麻疹（はしか）、風疹を予防するワクチン。
ま	マーゲンチューブ		鼻や口から胃に挿入したチューブのことで、経鼻経管栄養のチューブのことなどを指す。 NG チューブなどともいう。
み	脈拍	P (プルズ・パルス)	動脈が伝える心臓の鼓動。
み	ミルクング		ドレーン（管）の中に詰まった排液を流す手技。

む	ムンテラ		医師や患者さんやご家族に病状や治療方針を説明すること。
め	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌	MRSA	免疫力の低下している方や高齢者に重篤な感染症を引き起こす。
ら	ライン/ルート		点滴の管のこと。
ら	ラポール		心と心が通い合ったつながりを意味する、相互の信頼関係のこと。
り	理学療法	PT	病気や障害のある方に、基本動作の維持や回復・改善を図るために、体操や運動などの運動療法を行ったり、電気、マッサージ、温熱などの物理療法を行うこと。
り	理学療法士	PT	理学療法を行う専門の人。 理学療法士の国家資格を有する。
り	リクライニング		背もたれを調整可能なリクライニング車椅子やベッドを使用して、体幹を後方へ傾けること。
り	立位		まっすぐに立った姿勢のこと。
り	リハビリテーション	リハビリ	状態の改善を図り、その人らしく生きるための活動全般のこと。 医学的リハビリテーションでは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などによって行われる。
り	療育		「療」は医療や治療を意味し、「育」は教育や保育を意味する 病気や障害があるお子さんに対して、その子の障害特性等を踏まえた上で行われる専門的な育ちの支援のこと。
り	良肢位		日常生活を送る上でより過ごしやすい、動きやすい状態に保たせておくこと。
れ	レントゲン撮影	X-P	
わ	ワッサー		蒸留水のこと。

# 福祉用語

	用語	意味
あ	アウトリーチ	ソーシャルワークや福祉サービスの実施機関がその施設で利用者を待つのではなく、自宅等に出向いてサービスを提供すること。
あ	アセスメント	支援対象の方の情報を主観的・客観的に捉え、問題点や強み、よりよくするための視点を探り、その人に必要なことを考えること。
あ	アドボカシー	知的障害や精神障害、認知機能低下などのために、自分で判断する能力が不十分だったり、意志や権利を主張することが難しい人たちのために、代理人が権利の主張や自己決定をサポートしたり、代弁して権利を擁護したり表明したりする活動のこと。
い	委託相談	市町村からの委託を受け、福祉サービス利用や生活上の困りごとなどについて相談や情報提供を行う。 障がいのある方や家族に対し各種相談支援、情報提供などを総合的に行う。
い	医療的ケア児支援法	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律のこと。 医療的ケア児の健やかな成長とご家族の離職防止に資し、安心して子どもを育てることができる社会の実現に寄与することを目的としている。
い	医療的ケア児等 コーディネーター	都道府県で実施している研修を修了し、医療的ケアに関する専門的な知識と経験を体得して、関係機関との連携（多職種連携）を担う。 職種の制限はなく、相談支援専門員、保健師、看護師、行政職員と様々。
い	医療的ケア判定スコア	医療的ケアを必要とする方が、障がい福祉サービス等を利用するにあたり、どの程度の看護職員の配置を必要とするか等を判断するためのスコア。 基本スコア・見守りスコアがあり、2つのスコアの合算を医療的ケアスコアという。
い	インクルーシブ	「包括的」「すべてのものを含んでいる」という意味。 障がいや疾病等の有無に関わらず、多様性を尊重すること。
い	インテーク	初回面接のこと。 支援者が支援を行うために、相談者から困りごとなどを伺う。
い	インフォーマルケア	家族・親族や友人・地域住民・NPO法人・ボランティアなどによる非公式的な支援のこと。
い	インフォームド・アセント	治療や検査を受ける子どもに対し、その子の発達や理解度に合わせて丁寧に分かりやすく説明し、子ども自身が理解・納得して治療等に合意すること。



え	エコマップ	ご本人やご家族を取り巻く社会資源について、相関関係を図式化したもの。
え	エンパワメント	1人1人の考え方、自分らしさなどを尊重しながら主体的・積極的に能力を発揮できるようにすること。
き	共同生活援助 (グループホーム)	一軒家やアパートなどで、共同生活を行いながら、利用者1人ひとりが各々にあった支援を受け、自立した暮らしを目指せるサービス。
き	居宅介護 (ホームヘルプ)	ホームヘルパーが自宅訪問し、入浴や食事の手伝い、部屋の掃除や洗濯など、家での生活を手伝う(身体介護、家事援助、通院等介助)サービス。
け	計画相談支援	暮らしの困りごとを相談したり、福祉サービスを使うためのアドバイスを受けることができる。さらに、計画書を作ってサービスの利用ができるようにサポートしたり、困っていることがないかなど、定期的に様子を確認するサービス。
け	ケア会議	個別ケースの背後にある共通の課題を見つけ出し、関連する課題や地域の現状等を総合的に判断して、解決すべき地域の課題を明らかにし、解決策を話し合う。
け	ケース会議	解決すべき課題を抱えて支援を必要としている人のために、チームとなって情報を共有し、より良い支援ができるようにするもの。
こ	国際生活機能分類 (ICF)	人が生きていく上での障壁をその人の個性や、周りの環境との関わりを考えた上で、体系立てて分類した、世界共通の分類指標。
さ	サービス等利用計画	その人の生活全般をみて、どのような福祉サービス等を利用すれば、その人のニーズを満たすことができるのか、また、その人の生活全体が豊かになるのかを計画するもの。
し	児童発達支援	通所により身辺自立、社会性向上などの療育支援サービスを提供。 施設基準により「児童発達支援センター」、「児童発達支援事業所」がある。 (原則として未就学)
し	児童福祉法	児童が良好な環境において生まれ、且つ、心身ともに健やかに育成されるよう保育、母子保護、児童虐待防止対策を含むすべての児童の福祉を支援する法律。

し	社会福祉士	福祉等の専門的知識を持ち、生活に困っているあらゆる方々の相談に応じ、助言や指導、関係者との連絡調整などの援助を行う職種。
し	就労移行支援	企業等の就職を希望する方に、就労に必要な知識や能力向上訓練を実施するサービス。
し	就労継続支援	一般企業への就労が難しい方に、働く場と訓練を提供するサービス。
し	障害児通所支援	施設などへの通所によって、日常生活における基本的な動作の指導、生活能力の向上のために必要な訓練、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、社会との交流の促進などの支援を行うサービス。 (例：児童発達支援、放課後等デイサービス等)
し	障害児福祉手当	20歳未満の精神又は身体に重度の障がいがある子どもを育てる父母などが受けられる手当。
し	障害者総合支援法	障がいのある方が基本的人権のある個人としてふさわしい日常生活や、社会生活を営むことができるように、必要となる福祉サービスに関わる給付・地域生活支援事業やその他の支援を総合的に行うことを定めた法律。
し	小児慢性特定疾病 (小慢)	①慢性に経過する②生命を長期に脅かす ③症状や治療が長期にわたって生活の質を低下させる ④長期にわたって高額な医療費の負担が続く、 この4つすべての要件を満たした厚生労働大臣が定める疾病のこと。
し	小児慢性特定疾病 医療費助成制度	小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、健全育成の観点から、患児家庭の医療費の負担軽減を図るため、その医療費の自己負担分の一部を助成する制度。
し	身体障害者手帳	身体の機能に一定以上の障がいがあると認められた時に公布される手帳。
す	ストレングス	本来有する力や強み、才能など。
せ	生活介護	常に介護が必要な方に、昼間の入浴や排泄、食事の介護、創作的活動・生産活動を提供するサービス。

せ	精神障害者 保健福祉手帳	一定程度の精神障害の状態にあると認められた時に公布される手帳。
せ	成年後見制度	知的障害や精神障害などで、ひとりで決めることに不安がある方・難しい方に対し、契約等のお手伝いをする制度。財産管理（不動産・預貯金・相続手続きなど）や身上保護（介護・福祉サービスの利用契約や施設入所・入院の契約締結など）に成年後見人等が支援を行う。
そ	相談支援事業所	身体に障がいのある方やそのご家族の方からの相談に応じて、障がい者が地域で安心して暮らせるよう、また自立した生活を送るための相談及び、情報提供等の必要な各種支援を行う事業所。
そ	相談支援専門員	障がいのある方やそのご家族の暮らしに関する相談に応じ、情報提供や助言、障害福祉サービス等の利用調整や関係者との連絡調整等を行う。
そ	ソーシャルワーカー	医療、教育、福祉等の分野で、相談支援を行う相談員のこと。
そ	ソーシャルワーク	社会福祉援助のことであり、人々が生活していく上での問題を解決なり緩和することで、質の高い生活（QOL）を支援し、個人のウェルビーイングの状態を高めることを目指していくこと。
た	短期入所 （ショートステイ）	障がいがある方のご家族が急病の時や休息が必要な時などに、一時的に施設へ入所するサービス。福祉型（医療管理を必要としない方が利用）と医療型（医療管理を必要とする方が利用）がある。
た	担当者会議	ケアマネージャーが作成したケアプランの内容・方向性を決定するときに関係者を集めて開かれる話し合いのこと。 利用者の状態やニーズなどの情報を多職種と共有・検討できる場。
と	特別児童介護手当	身体障害者 1、2 級または療育手帳 A を所持している年齢 3 歳以上 20 歳未満の児童を養育し、 <u>郡山市に在住する親権者</u> 、後見人に支給される手当。
と	特別児童扶養手当	疾患や障がいのある 20 歳未満の子どもを療育する保護者に支給される。
の	ノーマライゼーション	障がい者や高齢者などがほかの人と平等に生きるために、社会基盤や、福祉の充実などを整備していく考え方。

は	バリアフリー	障がい者や高齢者等が生活していく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情緒面での障壁など、すべての障壁を除去する考え方。
ひ	ピア活動 ピアサポート	同じ悩みや症状などの問題を抱える方々（同じ立場にある当事者）が互いの経験・体験をもとに語り合い共感しサポートを行う、相互支援の取り組みのこと。
へ	ヘルプマーク	義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、援助を得やすくなるように作成されたマーク。
ほ	保育所等訪問支援	保育園や幼稚園、学童保育、養護施設などに在籍する児童へ、保育士や看護師などの専門スタッフが訪問して療育支援を提供する（未就学から小学生くらいまで）。
ほ	放課後等デイサービス	通所により放課後や長期休暇中の余暇活動や療育支援サービスを提供。保護者の就労支援という側面もある。
ほ	訪問介護	訪問介護員（ホームヘルパー）が障がいのある方などのご自宅に訪問し、入浴、排泄、食事、調理、掃除、洗濯等の介助等を行うサービス。
ほ	訪問介護員 （ホームヘルパー）	訪問介護を提供する職種のこと。
ほ	訪問看護	主治医の指示に基づいて看護師等がご自宅を訪問し、健康状態の確認、生活支援や医療行為を行うサービス。
ほ	訪問診察	通院するのが難しい患者さんのかかりつけ医として、医師が定期的にご自宅に訪問し診察を行うこと。（急な病状変化等に対して医師が緊急に訪問して診察することについては、往診という）
ほ	訪問入浴介護	専門の事業者が、寝たきり等の理由で自宅の浴槽では入浴することが困難な在宅の要介護者に対して、浴槽を自宅に持ち込み入浴の介護を行うサービス。
ほ	補装具	障がいのある方が日常生活を送る上で、必要な移動や動作等を確保したり、身体の欠損または損なわれた身体機能を補完・代替する用具のこと。車椅子、座位保持装置、装具、歩行補助杖など。
も	モニタリング	ケアプランに問題がなく、本来の目的に合ったサービスや支援が提供されているか、サービス実施状況を定期的に評価して検証すること。

ゆ	ユニバーサルデザイン	障がいの有無や年齢、性別、能力、状況等に関わらず、できるだけ多くの人が使いやすいような物や建物・環境などをデザインするという考え方。
ら	ライフサイクル	出生から乳児、学童、学生、社会人、退職、死亡に至る人生のサイクルのこと。
り	療育手帳	児童相談所または知的障害者更生相談所において、知的障害があると判定された方に公布される手帳。
り	療養看護	医療と介護が常時必要な人に、病院で機能訓練、療養上の管理、看護や食事、入浴などの日常生活の手伝いをするサービス。
れ	レスパイト	主に介護しているご家族の小休止や一休み、息抜きのこと。